

# 「アトピー性皮膚炎患者に対する全身療法の継続率の検討」 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2024年8月5日 ～ 2029年3月31日

## 〔研究課題〕

アトピー性皮膚炎患者に対する全身療法の継続率の検討

## 〔研究目的〕

近年、生物学的製剤や経口 JAK 阻害薬など新たな全身療法が登場しましたが、安全性や様々な都合により中断することもあります。いつまで続けるべきかはまだはっきりとわかっておらず、全身療法を中止後、塗り薬だけで良い状態が維持できた患者さんの特徴や、中止後、皮膚症状が悪くなり再度投与が必要になった患者さんの特徴の違いなども未だ不明です。この研究では全身療法の継続率と調べるとともに、全身療法中止後に寛解を維持できた患者特徴を調べます。

## 〔研究意義〕

アトピー性皮膚炎患者さんにおいて、実際に全身療法をどのくらい続けているかがわかります。また、全身療法を中止できる患者さんの特徴や中止の適切なタイミングがわかる可能性があります。

## 〔対象・研究方法〕

2018年6月1日以降2024年3月31日までに帝京大学医学部附属病院皮膚科を受診しアトピー性皮膚炎に対してデュピルマブ(デュピクセント®)、バリシチニブ(オルミエント®)、ウパダシチニブ(リンヴォック®)の治療を受けた患者さんを対象とします。患者さんの背景、重症度、アンケート結果、検査値などを、後ろ向きにカルテから情報を収集し解析します。

## 〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 皮膚科学講座

責任者：帝京大学医学部皮膚科 主任教授 多田弥生

## 〔個人情報の取り扱い〕

個人情報は厳重に管理されます。学会や論文など学外へ情報を発表する際には個人情報が分からなくなる加工を行うため、患者さんが特定されることはありません。研究終了後、情報を倫理委員会事務局に提出し、臨床研究センターにて10年保管の後に廃棄します。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学医学部皮膚科学講座 主任教授 多田弥生

研究分担者：教授 鎌田昌洋

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表) [内線 32610]